



テーマ

翼を広げる時に

文化祭

展示/ 10月20日～28日
当夜祭/ 10月20日午後5：30町内神楽発表会
当日祭/ 10月21日午前9：00各種団体発表会
後夜祭/ 10月26日午後7：30映画鑑賞会

主催 千代田町青年連合会・千代田町中央公民館



一枚の葉が
一本の枝が
大きな
大きな
この木を語る
あるがままに

一人の
皆の
一歩が
未来を創る
いま
この時代を
超えて

テーマによせて

昭和54年度文化祭実行委員長
千代田町青年連合会
会長 波多野淑史

翼を拡げる時に、彼は何を思ったのだろうか。
すいこまれそうな青空の中に、初めて身を
任せる時、彼は何を思ったのだろうか。

どこまでもつづく青空への期待と不安の中
で………

あまりにも激しい環境の変化の中で
私たちは、何を望むのか。

そして、現在 何をすべきなのか、輝やか
しい未来へ向けて、まさに飛び立とうとして
いる今、ただ 流れに身を任せるのではなく今
をいかに考え行動するかが大切であると思う。

「翼を拡げる時に」見つめてみよう。

一人一人異なった自分を持ち、違った生活
を持っている。千代田に住んでいるという連
帯でしかない。

私達が思うことは、自分を高めこの緑豊か
な千代田をよりよくしたいということだと思
う。

一つの明りで暗いときは、多くの明りをつ
けよう。より遠くまで、明るくてらしてくれ
るだろう。

一本の糸は弱い、すぐ切れてしまうだろう。
しかし、この糸を束ねて太いロープを作った
ら、より大きなものが引張れるだろう。

私達は一人ではない。家族があり仲間がい
る。そして千代田は、私達の町である。他人
に任せるのではなく、みんなの力でよりよい
町にしていこう。

古い知識を知り、現在を見つめ確かなビジ
ョンのもとに、前向きな姿勢で行動してい
きたい。

あ い さ つ

千代田町中央公民館
館長 増本利明

本年のテーマとして「翼を拡げるときに」
と定まりました。

郷土に活気的事業である中国縦貫自動車道が
大きな夢と希望をのせて開通いたしました。
この時にあたり青年諸君が中心になりこのテ
ーマを提唱されます事は、たいへん意義ある
事と思います。

「千代田はどうかわってゆくのだろうか」よく
言い交わされる言葉ですが「千代田はどうか
わってゆくのか」でなく、私達は、「千代田
をどうかえてゆくか」だと思います。

この事は他人任せでなく、町民の一人一人の
考える問題でありましょう。志を同じうする
人々の力を結集し、より豊かな住みよい田園
都市千代田に育てなくてはなりません。

たとえ、小さな事でも話合いの中で、工夫
し実践し、継続していけば必ず大きな成果を
あげることが出来ることでしょう。

この文化祭を開催するにあたり、ご協力いた
だきました方々および役員の方々に厚く御礼
申し上げます。



* 日程と会場 *

《 展 示 》

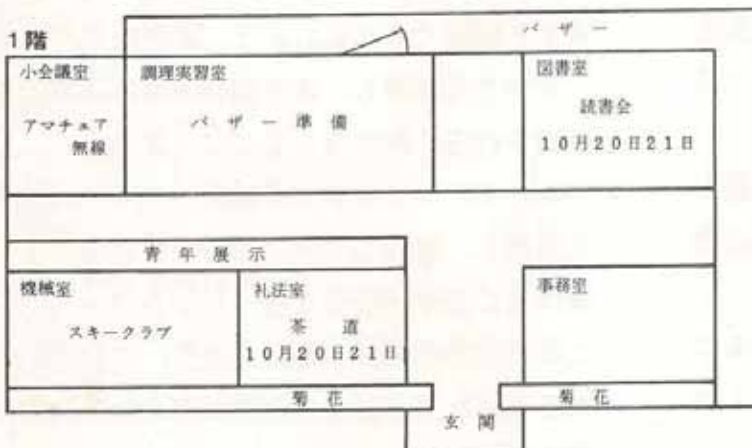
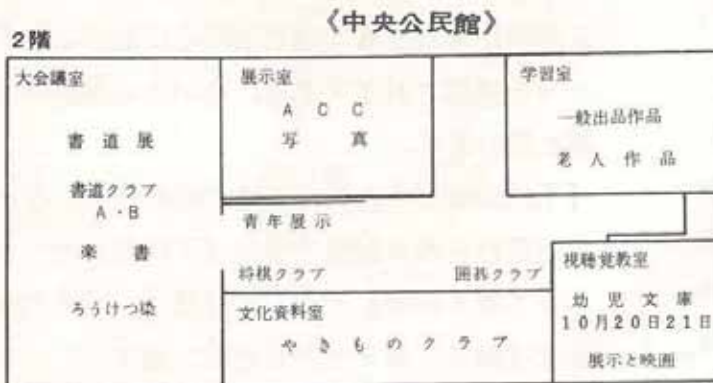
10月20日~28日(午前9時~午後4時)

各種展示発表会

《 当夜祭 》

10月20日

町内神楽発表会



◇曙神楽団 子持山姥

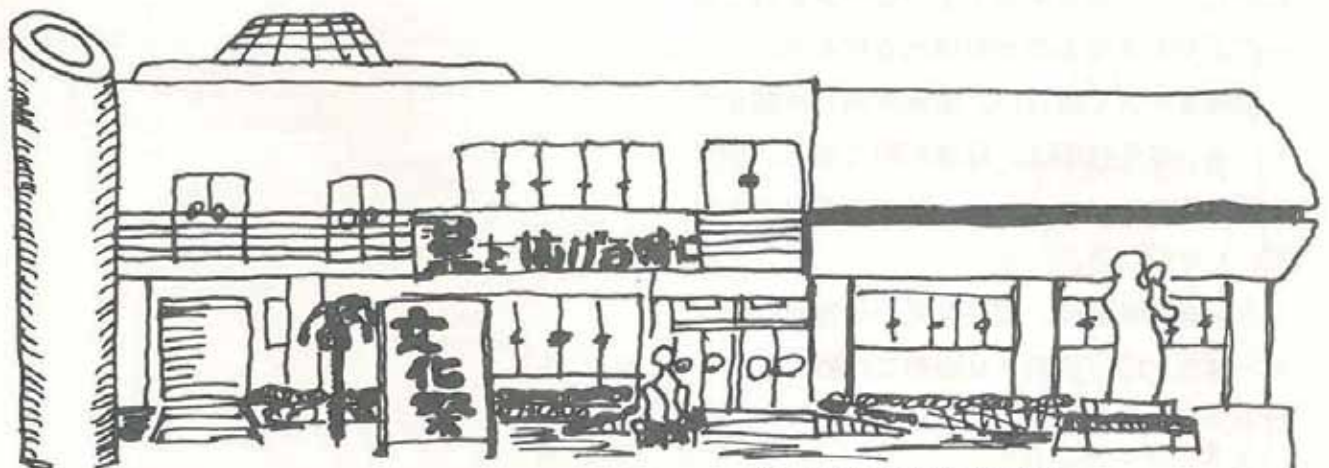
源頼光	友田 宣彦	大太鼓	上野 昭義
卜部季武	清水 孝基	小太鼓	垣内紀世士
姥	森 三郎	手打鐘	藤吉 堅
怪童丸	上田 恒夫	笛	山崎 栄蔵

◇今田神楽団 鈴鹿山

田村磨呂	比奈田恭吾	大太鼓	新井 鷹登
和田翁	広森 健治	小太鼓	呉川 竜志
あやめ姫	松野 正文	手打金	小川 忍
夜叉丸	五反田峯雄	笛	上田 重人
犬神丸	上田 栄治		
小鬼	森広 淳		

◇川西神楽団 葛城山

頼 光	沖石 幸三	大太鼓	大上 貞夫
季 武	隅坂 貞夫	小太鼓	隅坂 利昭
金 時	竹下 英夫	手打金	溝畑 忠美
胡 蝶	玉井 顕雄	笛	山田 和男
土蜘蛛	西村 義明		



子持町中央公民館

《当日祭》 《後夜祭》

午後5:30より
芸能ステージ (中学校跡地 農業祭会場内)

10月21日 午前9:00より

10月26日
 午後7:30

各種団体発表会
 若者広場

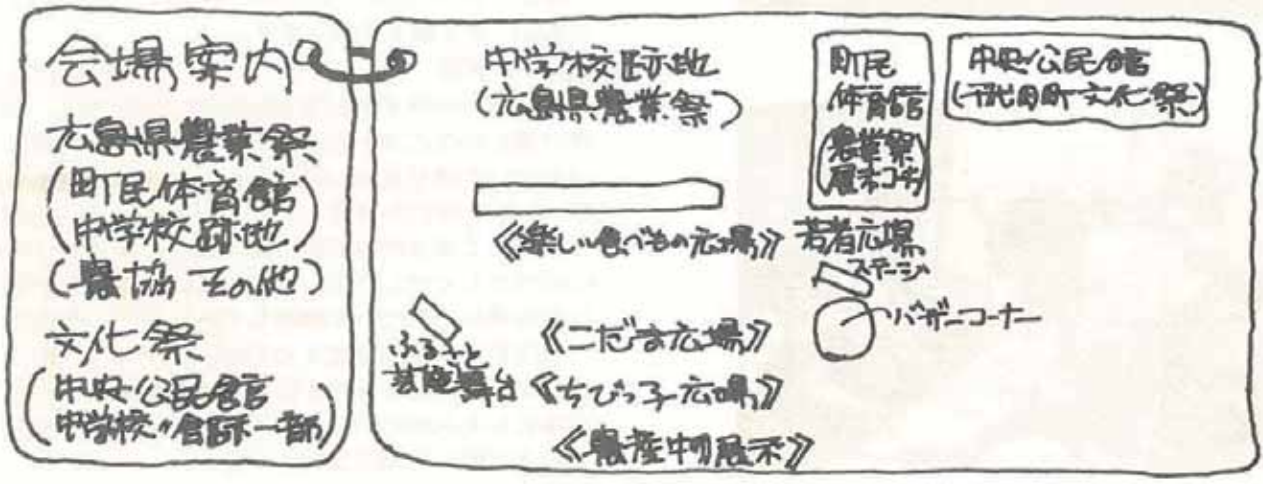
映画祭
 町民体育館

◇ **蔵迫神楽団 日本武尊**
 大和姫 山手 一夫 大太鼓 城 幸雄
 日本武尊 石田 隆信 小太鼓 中村 繁人
 橘 姫 渡草 新吾 手打金 糖井 正昭
 賊 小下 登 笛 柳川 隆美
 玉村 正司

- プログラム**
- 9:00 開会
 - 9:30~10:00 劇 (壬生青年会)
 - 10:10~10:40 民謡 (八重中央民謡クラブ)
 - 10:50~11:20 居合道 (千代田体協合気道部)
 - 11:30~12:00 詩吟 (老人クラブ)
 - 12:10~12:40 フォークソング (歩(ひよこ)・中央公民館スキークラブ)
 - 12:50~13:20 演歌・なつかしの歌 (楽団ふるさと)
 - 13:30~14:00 コーラス (中央公民館 コーラス・クラブ)
 - 14:10~14:40 民謡 (川東民謡クラブ)
 - 14:50~15:20 尺八と琴 (都山流尺八同好会) (中野社中)
 - 15:30~16:00 盆踊り (八重青年会)
 - 16:10~16:40 フォークソング (公民館・よっしゃ)
 - 16:50~17:20 皆んなで歌おう (八重東青年会)

赤いお月さま
 終戦前後の混乱期に疎開先で出会った友は自分で育てた花に「赤いお月さま」と名づけ、それに「平和への願い」をこめて去っていく。それから30年。二人の子の母となった主人公は、その友に同情しながらも周囲のひが目に左右されて信頼を裏切っていた事を知る。その二人の苦い友情を追いながら、戦争の残酷さと平和の尊さ、友情のあり方を訴えます。
 ☆長編漫画
安寿と厨子王丸
 遠い昔から語り伝えられた、安寿と厨子王丸の幼い姉弟の美しくも悲しい物語。可愛い動物達の活躍などで、笑い涙と夢を誘うアニメーションの秀作。

千代田町には現在神楽団が18団体あります。育てられ、伝えられた神楽が私達の一年の暮しの中に位置づけられ、時には一つのコミュニティ活動として、またある時には文化財、芸術の活動としてますます盛んになっていくことは、心豊かな郷土をめざす私達の町にとって大変すばらしいことと思います。
 このたび文化祭の前夜祭にその受け継がれていく神楽の発表会を企画しました。神楽について、また新舞とか旧舞とかについてご覧になるみなさまと共に楽しみ、学んでゆきたいと思ひます。



* 10月20日21日の特別行事

幼児文庫の交換と 親子映画会



幼児文庫

鷹野主照波

10月20日21日 視聴覚室

文庫の展示 どうわ館 も今年は二年め、より多くの
子供さんたちに利用して貰おうとお盆を中心に五日間の
勉強会をもちました。

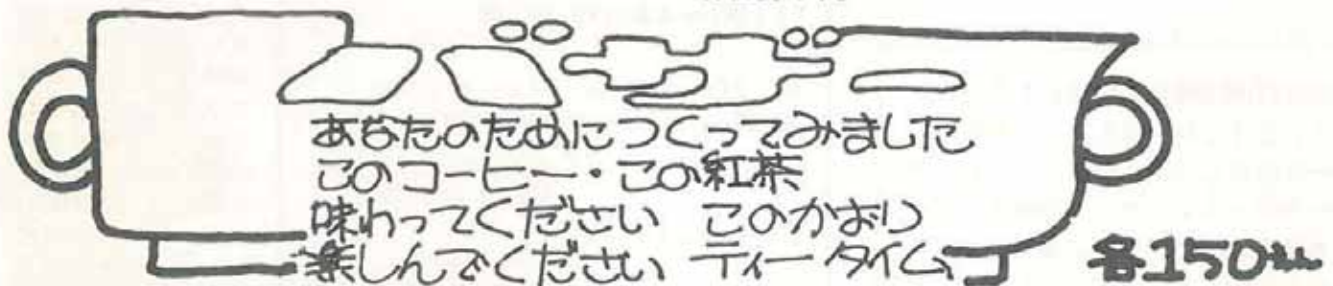
そのせいか八月末の本の交換日には450冊に近い本が
借り出されていきました。

千代田町がこの文化祭のテーマの如く大きく翼をひろげ
てはばたくことを、この子供たちに夢みる私達です。

たった一度借りて貰った1冊の本が本との出会いになる
ことだってあるのです。

平和教育映画アニメーションのピカドンと一緒にご覧く
ださい。

上映時間=21日午前10時・11時・午後2時・3時
10分程度です。



まずはごいっぷく 茶道クラブA
晶山サワエ

10月20日21日 (午前10時～午後3時)
礼法室にて

産業革命ではないけれど大きく変貌する千代田
をなお一層より良く羽ばたかすのは私達一人一人
の心構えではないでしょうか。公民館活動の一つで
ある茶道クラブも今年から二つのグループに成長
し、西から東、北から南と人と人との和からコミ
ュニティーが生れてくることでしょう。

他クラブとの交流からもお互いを知り私の心を広
げ様とするその心が千代田町の発展につながるの
ではないかと思っております。

茶道クラブB

渡里京子

あじさいの咲く頃お茶を始めて以来三ヶ月、毎
度び楽しいなごやかな雰囲気でおけい古をさせて
いただいて居ります。中年ともなりますと覚えも
悪くいつも恥のかき通してございますが、良き師
を得まして或る時は子供へ諭すようにやさしく時
にはきびしくびしりと、それははいねいに要を得
たご指導をいただいて精進しております。今はま
だお点前の順序等を覚えるのに一生懸命ですが、
ただ単に技術的なものを学ぶだけでなく自己修練
の場として人生にうるおいのある日々を送る糧と
なればと思っております。





映画会

映画を作る会
新藤久人

10月20日21日 中学校元校舎の隅

上演時間 20日 14:00・15:00
21日 10:00・11:00・14:00・15:00

私達の習作「八岐大蛇」をご覧いただくと共に、話し合ひましょう。

私達「映画を作る会」は、昭和51年1月「中国縦貫道と私達のまち」をテーマに16%映画を作ろうと発足したグループです。会員は映画作りについては、はじめての者ばかりでしたが、会を重ねるにつれ、単なる記録の制作でなく、映画制作を通して私達の郷土の再認識と将来のあり方を、町民の方々と一緒に考えることの出来る作品にしようという方向にすすんでいます。

私達会員が、いろいろなことを考えれば考えるほど、それをより多くの人と語り合い、そして実行していかなければ「田園と文化の町」づくりは絵に描いたモチにしかならないと思っています。私達町民一人一人の手で、具体的な成果のあがる活動を行ないたいものです。



読書の楽しみをあなたと 分かちあいたい

読書会
佐々木正子

公民館図書であいましょう

10月20日21日一図書室にて

1日の仕事を終えて、ほっと息ついた時、昼間の騒音から解放され、千草にすだく虫の声々が聞かれますが、自然はわたしたちに安らぎを与えてくれます。

読書はわたしたちにこの自然のように、心の安らぎと共に心の豊かな人間性を培ってくれます。さらに時間と空間をこえて色々なことを語ってくれます。また文字を通しゆたかな想像の世界へと誘い込んでくれます。

さて、わたしたち読書クラブは15名で構成されています。

月1冊の共通の本を読み、月1回の会合で読んだ本を通じて、感動したことや印象に残った文章等を発表し合っております。



スキー部もまた楽し

スキークラブ
鉄田米男

10月21日 映画会 機械室にて

スキーでの友情や信頼をたったの二ヶ月間で終らしてはならないと考えスキー倶楽部は公民館活動に参加して残る十ヶ月間を青虫の様にウジウジと過ごす事に決めてから早くも三年になります。この青虫は何んでも食べました。バレー・卓球・ソフトボール・バイクの安全運転講習もやろう、お茶も酒も飲もうともかく何んでもやって丸々肥り、山々が真白にドレスアップした時、蝶の様に脱皮してあの天上の舞台をめざして飛びたつのです。そんな気楽な形の公民館スキークラブです。どうぞ気安くサークルの中に入って来て下さい。



* 発表会出演団体



コーラス コーラスグループ

小山信江

さあ、歌ってください。心の底から思いっきり歌うのです。誰でも、いつでも、自由に参加できるコーラスの集いで。パパもママも、それに若い人ももちろんです。

みんなていっしょに歌い、ときにはおどり、唱歌からフォークソング、ニューミュージックまで、岡谷佳代子先生を囲んでの歌声は公民館の視聴覚室いっぱいの輪にひろがってゆくのです。もう、3年も続きました。みんなで歌えば、テレ屋さんのあなたも、歌嫌いのあなたもじっと坐ってはいられないはずですよ。



民踊 八重中央婦人会民踊教室

代表 河野文香

昭和42年7月八重中央婦人会民踊教室として発足以来12年、最初は19名、その後仕事や家庭の事情でやめた人、又新しく入会された人で現在13名です。民踊は楽しみながら体を動かし頭を働かせ老化を防ぐには良い事ではないでしょうか。

私達の会も年は重ねているけれども、習っては忘れ、忘れては習うくり返して、演技はともかく皆さんの気力をも合せて見ていただきたいと思います。

詩吟

松原一美

老人大学のクラブ活動として詩吟クラブが発足してもう四年になる。当時二十名余りだったのが現在四十名となり、大学開講日の午後、本地の森脇蟬山先生の指導を受け、又一昨年からは広島赤井溶山先生の指導も受けて全員が思誠流赤心会に入会し、すでに中伝に達した人もありその成果は老人大学の発表会や、町文化祭に発表している。

大学開講日の午後だけでは物足りないとあって折々は憩の家に集合して練習している。



居合道 発 春三



足利時代の末期より伝承されて来た居合道は日本刀の精神たる破邪顕正の徳を实践躬行する方法を靈器日本刀に依って究明する処世の大道であり、根元を礼に終始せねばならない。この修養は単に相手を斬突する事だけを以って一切の目的とするものでなく、即ち己が動静を重んじ聊かも気の弛み無き気魄を養い、一切の動作は肚で抜き肚で斬り肚で納める。

楽団ふるさと

演歌リバイバル 軍歌レパートリー 1500曲
毎週土曜日 練習

出演 文化祭 戦友会 老人クラブ 演芸会
町内企業記念行事 RCC

団長	山手隆則	アコ	松原義則	ドラム
	村上 昭	〃	渡辺	ギター
	前原哲三	〃	伊藤敬之	ベース
	高下忠徳	〃	金子 勲	ボーカル

昭和53年5月結成



民 踊

所在 千代田町川東
広島県民踊協会千代田町東支部

54年1月、民踊を習いたい人が数人集合、月2回の練習を決め、講師に県民踊協会から山田・立掛岡先生を迎えて発会、次第に人数もふえて現在20名が習っています。参加者も下川東、上川東を中心に川西、中郷、河内の各地区からの参加を得て、民踊を習う事によってコミュニティの輪を広げております。練習会場も下川東集会所を中心に上川東公会堂、川西集会所と、順ぐりに利用させて戴いております。どうしても婦人が中心になりますが、男性の参加者もあります。



尺八と琴

越 照幸

首振3年、コロ（尺八の音の1つ）8年とまで言われる練習と「春風人に接し、秋風己を持す」この厳しい尺八楽の態度に共感の方、一緒にやってみませんか。この文化祭には、蔵迫の中野社中（琴）の方と合奏します。

曲は、菊井松音作曲、いけばなの曲です。この曲は、活花と箏曲の結合して始め発表されたもので作曲者の意図するところは“日本の美的表現”で、“日本の心”と“日本の美”、ということは芸術に於て、始めて見出されるもので、象形芸術と無形芸術との融合という邦楽史上重要な美的表現といえるでしょう。歌詞は堀口玉方氏で春の部と秋の部の二部作で、季節によってこれを演奏します。



フォーク.ソングよっしゃ

よっしゃがやります。「みんなで歌うコーナー」これは、あなたがいなくてできません。歌の下手な人まだ下手な人がいます。ちょっと来てみませんか。

よっしゃは、歌の好きな気のいいバカ者(?)の集まりです。これから期待されるグループ「よっしゃ」に気軽に寄ってみて下さいネ!

歌を歌って、日頃の悩みも解消。心から思いっきり歌ってみましょう。

よっしゃは歌と雑談の集まりです(今のところ) ちょっとした気分転換、ストレス解消の場に使ってみませんかそして今から色々な方向に飛んで行きましょう。



* 展 示



書道クラブ B 大橋 賢

私達B教室は本年4月C教室と合同して同じ書の道を選んで日夜精進している者38名となっています。

初めは筆も重く学習にも精神的疲労を感じていましたが、日時と練習が重なる内に次第次第にこの道も楽しく筆を持つ手も軽く走るように感じる今日この頃です。開講日を待つ気になって来たことは一同が心を合わせて和やかに練習が出来、その成果も上達していることをもの語っているものと思います。

「今年こそは、今年こそは」と大空に向かって大きく飛び立つ日を念願しつつ一生懸命努力しています。



楽しく書く^{らくしよ}楽書会 沖田義範

楽書会とは、読んで字のごとく「楽しく字を書く会」です。ともすれば少しでも早く上達してやろう、一段でも他人より上の段をと自分の練習、力量以上のものを望みその結果自信喪失となることとなります。

何の書道団体にも属さず、自分の力で、自分なりに納得の出来る字を書くことがこの会の目的です。

中国縦貫道も開通し、「田園と緑の町」を合言葉に千代田は発展しようとしています。

又今回の文化祭のテーマは「翼を拡げる時」と題され、これから大空に元気よく羽ばたいてゆく千代田の姿がうかがえます。



やきもののクラブ 富田一男

中国縦貫道の千代田開通を迎えて、ともすれば個人主義になりがちな現代の社会の中で私達は未来社会を思考し、テーマ「翼を拡げる時に」にふさわしく大きく飛躍したいものです。

やきもののクラブもコミュニティ活動の一環として、若い岡本先生のファイトある指導のもと、お互いに協力して、土と闘い、炎にむかい、製作に励んでまいりました。これらの作品をどうぞじっくりごらんください。名陶の作品をながめ乍ら「よし今度はこれを作ってみよう」とは素人であればこそ挑戦できるものです。



ACC アーティストクラブ チヨダ 效馬竜二

私達は、社会を冷静な目で見つめたい。科学万能の世の中だから、日々の生活も、昔と比べて便利になった。体も使わず、考える事もしなくていい。しかし一つ誤れば、自ら築き上げた高度文明に我身を滅ぼす結果となる。「翼を拡げる時に」このテーマによせて、科学万能の今の時代にあり、私達ACCはこの活動の中で豊かな人間性をはぐくみ、社会に羽を拡げたい。

創造は、孤独の産物である。自分の手で、自分の足で無限なる可能性に挑戦したい。

展 示



将棋クラブ

三谷盛夫

毎月第1, 第3土曜日午後6時半から9時まで、中央公民館で将棋の指導、試合、講評等が行われています。今年夏の大会は、大朝町、豊平町から数名の参加もあって盛会でした。

将棋をする事によって

「名人の棋譜をたどりて只一人

馳動かせり秋雨の夜」

若い人老人の方勿論青壮年の方々、どうぞ入会して下さい。そうして正月の大会を盛大に行いましょう。



囲碁クラブ

板谷正行

延びんとすれば屈せよ、飛び立つための準備はよいか、いま一度吾々町民は考えてみよう。千代田町の問題点、各分野の基盤づくりと町民の連帯意識はどうだろうかを。さて吾々囲碁クラブは親睦を第一要件とした集いであり、頭の体操の集団と云える。囲碁と人生は離して考えることはできない。三百六十五日を現わす盤上の鳥鷲は、善悪明暗入り乱れる人生縮図である。行動開始前の布石と作戦、腰をおとした姿勢こそ、「翼を広げる時に」脚下を照顧せよにふさわしい。

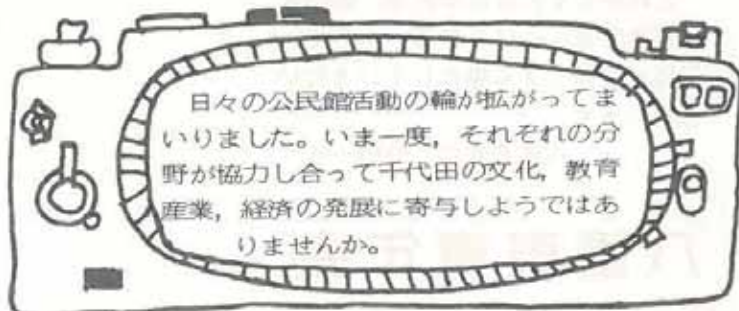


写真クラブ

輪田辰雄

私し達の時代を、私し達の手によって創作することのみが、後世に残る唯一の文化遺産ではないでしょうか。

その分野において写真クラブ会員は常に庶民の生活を探究し、且つ接点を求めて、創作に努力しています。



ろうけつ染

武田幸子

「この世で自分だけの物を作り出す」貴方もこの喜びを味わってみませんか。自分の手で染め、自分の手で作り出す。この世に二つとない色々な品物。

ローを洗い落した時の胸のワクワク「どうなっているかな」……しばらくして「今度こそいい物を作るぞ」と深く決心しイヤ又くり返しかも? でもいずれは“希望は大きく、皆様も気楽に月2回自分の手で世界で一つの物を作り出してみませんか。御主人にはネクタイ、愛情のプレゼントたまにはいいと思いませんか。



アマチュア無線

土井正昭

遙か宇宙の彼方から、土星の写真を送ってくる電波を思えば、地球表面をとぶ電波など微々たるもの。だがアマチュアにとってはそれが驚異です。今や日本のアマチュア無線局は五十万に達します。小学生から八十才以上まで、老若男女の人たちです。

千代田町では、明年早く日本アマチュア無線連盟認定講習会開催予定です。これを逃すと当分開かれません。厳しいかも知れないがあなたも資格を取って、アマチュア無線を趣味の一つに加えて見ませんか。





八重青年会

私達、八重青年会の今年のテーマは、“自分の為の青年会を積極的参加で盛り上げ、何かが残る一年にしよう”と言う事で活動を開始して早や半年をむかえました。

この半年間に、キャンプ、盆踊り競演のバザー等、多忙な行事をこなして来ましたがそれぞれの行事に参加してくれた各会員が、何かを感じ心に残して、これからの活動に役立ててくれれば良いと思います。

今年の文化祭参加を、盆踊りと決めたのは今までの活動で皆が一番苦勞し、一番心に残った行事だと言えるからです。

日頃の、私達の活動を、一人でも多くの皆さんに見ていただきたいと思います。

これからも八重青年会を、思いきり若さのぶっつけられる、そして、気軽に参加できる場にしていきたいと思ひます。

八重青年会 竹内一夫

八重東青年会

「翼を拡げる時に」に思ふ。千代田町は農村地帯であるが、最近、あちこちに工場などが建ち始め、道路の整備も進み、ついに中国縦貫道も開通し、東西に向って大きな翼を拡げようとしている。現在は、情報化時代であり、農村もその例外でなく、都会へ出て行く若者などが多かった。しかし、これからは違ってくるのではないか。過疎から田園都市構想へと夢が拡がる時代がくるのでは。そんな中で私たち青年は、次代をにう若者として、わが町千代田の将来を考えてみる必要があるだろう。青年会活動が千代田町民の間に定着し、さらに、お互いの活動の翼を拡げることができればいいと思ふ。

私たち八重東青年会は、現在十数名のメンバーしかおらず、活動状況は、盆踊り、キャンプなどの他は、千青連の行事を中心になんとかおこなっているのが現状です。これからは、青年会への勧誘と、年間計画をしっかりと企てて、みんなが楽しんで参加できるような青年会にしていきたい。





壬生青年会



翼を拡げる時に…「君たちは、今の千代田に何を思い、何を考えているのか」と問いかけられているような気がする。

翼とは、今の私達の置かれている立場、そして千代田。「この翼をどうはばたかせ」、「何処に行くのか」勿論誰にも分からない。でも明日の私達は、明日の千代田町はどうあって欲しいのか。そんな事を考えるきっかけ、それが今年の文化祭であって欲しい。私たち壬生青年会はこれまで文化祭その他色々な行事に取り組んで来ました。その中にコミュニティ活動、今の私たちに何が必要かそれは和ではないでしょうか。その和を壬生だけでなく千代田いやそれ以上にして行くように考えていかなければならないのではないのでしょうか。

今年のテーマを考え、私たち壬生青年会は、この千代田に「何か欠けている物はないか」、「何か見落としている物はないか」それをみなさんで考えてもらえるような劇にしました。「なんとなくわかってもらえれば幸いです。」

南方青年会

「翼を拡げる時に」このテーマより受けるイメージ、それは飛躍。

私達の町千代田は今、大きく飛躍しようとしている。その一翼をになっている青年のなすべき事は何んだろうと考えてみたならば、その答は若者の特権である行動力を駆使する事ではないだろうか。若さ故、誤った方向に進む事もあるだろう。けれども試行錯誤を繰り返す中で、新たな方向を見出し、新たな行動を起し、一人一人の小さなエネルギーを集める事により、よりよい町を作ろうとする力となるのです。

今私達は南方がいや千代田町が抱えている問題を、もう一度みつめ直し、考え、論議する事で新たな第一歩を踏み出そうとしているのです。そこで、私達は千代田の問題点をテーマにした展示をしました。

皆様といっしょに、千代田の将来について考えてみようではありませんか。





本地青年会

翼を拡げる時に、自分達を見失なうまい。飛躍する社会の中でどンドン伸びゆく私達はこの流れの中にのみこまれ自分の気持以外に動いたり、他人のやさしさを踏みにじったり、自分さえよければという猛者になりやすいと思います。まず自分の生きているまわりを見よう。地域の中に育っています様々な人間関係の中で毎日を過ごしています。狭い視野では馬車馬になります。しっかりまわりを見ていこう。こんなにいる友と一緒に。

この秋本地青年会は演劇の夕べを催します。文化祭では十月二十八日に飛び立とうとする本地青年会の様子を紹介したいと思います。

本地青年会会長 田中敏己

千代田には、青年会と青年学級とがあります。誰しも最初入会した時不思議に思った事でしょう。私は本地で青年会活動を始めて六年目、この疑問がつきまとっていました。何が問題なのでしょう。まず教育委員会にお願いしたいことは、金はずすが口は出さないという姿勢を作ってください。それから、自分達青年の姿勢です。何かを作り出していこうという気持をぶつけ合うことだと思います。

結局二つ組織を一つにするには、政治が青年の進む方向を決めてしまえばはいけません、大きな目で見て下さい。

川迫青年会

今回のテーマである『翼を拡げる時に』についてですがたとえて言うなら、ひな鳥の巣立ちの状態が思い出されます。大空に向かって飛び立とうと一生けん命翼を拡げ、はばたこうとします。今におきかえるなら、この千代田にピッタリだと思います。というのも中国縦貫道の開通ということです。このことにしても千代田にとって大きな発展であり、将来発展の第一歩であると思います。先ほども書きましたが、今回のテーマは、今年の千代田、いや、これからの千代田と思われるようです。まさに『翼を拡げる時に』=千代田だと思われま。

私たち川迫青年会ですが、現在20数名います。今年もいろんな活動をしてきましたが、みんなの協力もうすく、少しさびがついたようでした。

今年は少し変わったことをしようということになり、休けい所をすることにしました。休けい所といっても、どんな休けい所かというテレビでもやっていた水戸黄門などに出ていたあんな昔ふうの茶屋といった感じの休けい所に挑戦してみようということなのです。中には昔なつかしい遊び物なども置いたり、又展示もします。ちょっと立ち寄ってお茶でも飲みながら一息ついては……なんちゃってノ

ヨロシク



文化祭実行委員会

実行委員長 波多野淑史

副委員長 田村 一志

西原 俊行

企画・宣伝 佐渡 宏治

○ 対馬 竜二

橋詰 俊博

○ 沖田 義範

友永 博康

箕野 博司

原 京子

西村 修郎

江田 秋子

横山 弘昭

宮野 智実

会場展示 細部 俊彦

○ 隅中 竜博

山口 克也

○ 清水 勇二

江田 悟

藤原 康弘

津田 秀子

中田 一成

佐々木 才子

小林 康彦

藤吉 涼子

金子 文子

会 計 山田 芳彦



編集後記

テーマの中で、もう一度この町を。
私達自身を見つめよう。
そんな気持ちで行う文化祭でありたいと願い準備をすすめてきました。

もともと尻に火がつかなければ
バタバタしない性格なのか、向際
になって“どーしょうかいのー！”
でも何とか格好がつかしました。

こんな実行委員会に対し、不平
の一つもこぼさずご援助、ご協力
くださいました方々、さらに広く
町民の皆様により感謝していま
す。
どうもありがとうございました。

千代田町中央公民館

○印 千代田町中央公民館
コミュニティー協力員

1979